

子どもの心を守り
生きる力を育む

遊び、居場所、参加

ユニセフシンポジウム

(国連防災世界会議パブリックフォーラム)

レジリエントな社会を、子どもたちと
東日本大震災の経験を、“次”への備えに



3月14日(土)

午後2時30分～4時30分 2時15分開場

東京エレクトロンホール宮城

(宮城県民会館) 大ホール

入場無料 (事前申し込み優先※)

※参加申し込み方法等は裏面をごらん
ください。

お問い合わせ：日本ユニセフ協会広報室
TEL:03-5789-2016 FAX：03-5789-2036
E-mail: event@unicef.or.jp

基調講演



ユニセフ事務局長
アンソニー・レーク

コーディネーター

日本ユニセフ協会大使
アグネス・チャン



レジリエントな社会を、子どもたちと

世界で頻発する自然災害の被災者の5-6割は子どもたち。一瞬にして日常を奪われた子どもたちに、子どもらしく過ごせる時間を取り戻せる「居場所」を提供し、子どもの日常に欠かさない「遊び」を通じて心のケアを提供するといった、ユニセフが長年にわたって世界中の支援の現場で培ってきた知見は、東日本大震災被災地での活動のみならず、近い将来発生が予測されている大震災への備えにも生かされはじめています。

第3回国連防災世界会議の主要テーマは、「災害にレジリエントな（しなやかで回復力のある）社会づくり」。本シンポジウムでは、緊急時はおろか、普段の生活の中でも“この次”にされがちな子どもの「遊び」と「居場所」と「参加」をキーワードに、ユニセフのアンソニー・レーク事務局長や、現在も東北の被災地の現場で活動する各分野の専門家を迎え、子どもに視点を置いた復興や防災のあり方を考えてまいります。

3/14 (土) & 15 (日)

定禅寺通りに 午前10時～午後5時

プレーカーが登場！

定禅寺ギャラリー・竹中工務店東北支店ビル前広場
青葉区国分町3丁目4-33(東京エレクトロンホール宮城隣)



東北3県を走り回るプレーカーが、定禅寺通りに「遊び」を出前。子どもたちが制作した「未来のまちー七郷」の模型や、実物大の「いのちの石碑」（女川）も登場予定。ぜひご家族でお越しください！

写真展同時開催：

『長谷部誠選手が見たレジリエンス（仮題）』

日本ユニセフ協会創立60周年記念

第3回国連防災世界会議パブリックフォーラム

ユニセフシンポジウム「レジリエントな社会を、子どもたちと」

【プログラム】

基調講演 『レジリエントな社会を、子どもたちと』 アンソニー・レーク（ユニセフ事務局長）
(仮題・通訳付)

活動報告 『みなさまとともに歩んだ4年』 早水研（日本ユニセフ協会
東日本大震災緊急支援本部長）

パネルディスカッション

コーディネーター： アグネス・チャン（日本ユニセフ協会大使）

パネリスト：

小野道子（子どもの保護支援専門家/元ユニセフ職員）
本田涼子（心理社会的ケア支援専門家/臨床心理士/日本プレイセラピー協会理事）
佐藤慎也（都市計画・まちづくり専門家/山形大学教授）
天野秀昭（日本冒険あそび場づくり協会理事/大正大学特命教授）

発表：『私たちが考える防災』（「ふるさと相馬子ども復興会議」から）

福島県相馬市立飯豊小学校の子どもたち

※登壇者・プログラム内容は事前の予告なく変更される場合がございます

ユニセフシンポジウムに

先着1000名様をご招待

インターネットまたはFAXでお申込みください

※開催当日も、席に余裕がある限り事前のお申込みが無くてもご参加いただけますが、お席へのご案内までお待ちいただく可能性がございます。予めご了承ください。

インターネット：www.unicef.or.jp/event/sendai2015

FAX：03-5789-2036

①「3/14ユニセフシンポ」と明記

②参加者全員のお名前と③連絡先もお書き添えください